

第2部 現状と課題

第1 自然条件

1 位置

本県は、本州日本海側のほぼ中央に位置しており、北は石川県に接し、東南から西南にかけては岐阜県・滋賀県・京都府に隣接しています。

県土の総面積は4,188.38km²であり、全国総面積の1.12%を占めています。

2 地形

本県は、敦賀市の北東にある山中峠から木ノ芽峠を経て、枳ノ木峠に至る峰で嶺北、嶺南といわれる2つの地域に分けられ、地形や気候の面でそれぞれ異なった特徴を有しています。

嶺北地域は、九頭竜川、日野川、足羽川からの土砂の堆積による福井平野を中心に、大野・勝山盆地、九頭竜川中流河谷や丹生山地、越前中央山地、岐阜県境に広くつらなる越美山地、石川県にそびえる白山山地（加越山地）とそれに続く加越台地等から形成されています。

嶺南地域は、変化に富むリアス式海岸が続き、沈水から免れた山地と沈水してしまった入江・湾が交互に並列しており、各湾や入江の奥には、沈水地を埋積した狭い堆積地が、敦賀、美浜、小浜の小平野を形づくっています。

3 気候

日本海に面し、北陸の西端に位置している本県は、冬期に曇りや雪の多い日本海式気候に属しています。

しかし、地形や季節風の影響の違いなどにより、嶺南地域は山陰海岸型の気候で、冬の降水量は少なく温暖ですが、これに対して、嶺北地方の奥越では、北陸山地型の気候で気温は低く、冬期の降雪が多くなっています。

また、福井平野は、海岸に近い位置にありながら、海の影響の少ない内陸性気候を示しています。

■福井県の位置



■平均気温・年間降水量（平成7年度）

